

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
1	創価大学	経済と歴史	勘坂 純市 経済学部 教授	4	春学期	月 金	30	月 10:45～12:15 金 14:50～16:20	創価大学	若干名

【到達目標】

経済学の歴史の基本的な事実を学ぶ。そのなかで、現代の社会が直面する問題に自分の頭で考えていく訓練をする。

【授業の概要】

経済学の歴史をたどりながら、現在の経済学説がどのように成立したかを学ぶ

経済学を批判した諸学説と経済学を比較することで、経済学の見方を相対化する視点を獲得

【授業内容】

1. 古典的自由主義(2回目～4回目)

18世紀にヨーロッパで展開された自由主義の潮流の中で、アダム・スミスが経済学を誕生させた経緯を考察。そのなかで、彼の「自由放任」論の意義を考える。

2. 古典主義への批判(5回目～8回目)

古典的自由主義に対して意義を唱えた19世紀の思想、すなわち社会主義、歴史主義、功利主義を学び、そのなかで経済学がどのように変容したかを考える。

3. 限界革命と経済学の展開(9回目～12回目)

1870年代に経済学で起こった「限界革命」を学び、現代の経済学に続く経済理論がどのように形成されたかを考察する。

4. 「科学」としての経済学(13回目～15回目)

功利主義の影響から脱して経済学を「科学」としようとした Samuelson や新厚生経済学の試みを紹介し、現代の経済学が直面している問題を考察する。

5. 市場か政府か(17回目～20回目)

ケインズとハイエクの論争を通して、市場経済が自由主義にとってどのような意味があるかを考える。

6. 経済学と価値判断

厚生経済学の展開を通し、経済学が価値判断といかにかわるべきかを考察する

7. 日本の経済学(21回目～23回目)

大正期から昭和初期に経済学が日本にどのように受容されたかを考察し、社会における経済学の役割を考察する。

8. 経済学と人間—異端の経済学者

異端の経済学者、経済学への批判者の理論を通し、経済学は人間をどのように捉えてきたかを考える

【成績評価方法】

定期試験 40%

中間試験 35%

日常点(小テスト・課題等)25%

【教科書】

ディスカッションセッションで使用します

【参考書、教材等】

1. 小田中直樹『ライブ 経済学の歴史』勁草書房、2003年。

2. 根岸隆『経済学の歴史』[第2版]東洋経済新報社、1997年。

※ この授業は、4/8(金)が初回です。